

普遍ニュースレター

Newsletter from Center for General Education, Chiba University

Design : CHIHARA Kazuhiko

2008.08 No.01

“普遍ニュースレター”は、普遍教育センターの活動を中心に
普遍教育・大学教育の動向に関する情報を定期的に紹介していきます（季刊として年4回発行予定）。

普遍教育センター長 挨拶



普遍教育センターは平成18年4月に設置された新しいセンターです。そもそも普遍教育は平成6年からスタートしましたが、運営は大学教育委員会が行っていました。カリキュラムを大幅に変更するに当たって、当センターを設置して、運営を行うことになりました。

普遍教育を担うのは全学の教員です。その交通整理をするのが普遍教育センターと考えていただければよいと思います。教員は15の専門教員集団に分かれ、授業を担当します。総合大学の強みを生かし、幅広い教育を提供する体制になっています。運営側である普遍教育センターは企画部、運営部、評価部で構成されています。どのような教育を提供すべきかを検討し、授業を提供し、その授業内容をチェックして、さらに改善しています。

今の時代、種々のコミュニケーション能力の向上が要求されています。また豊かな教養もこれからの社会で生きていくために必要です。これらを合わせ持つ普遍教育をますます充実させていくことが当センターの責務です。また全学共通基礎科目も合わせて運営していきます。先生方のご協力の下に、今後もよりよい教育の提供のために努力する所存ですので、よろしくお願いいたします。

普遍教育センター長 北村 彰英

普遍教育センターの目的と組織

普遍教育センターは、普遍教育の企画・運営・実施・評価を中心に、センターの事業目的を実現するための活動に取り組んでいます。

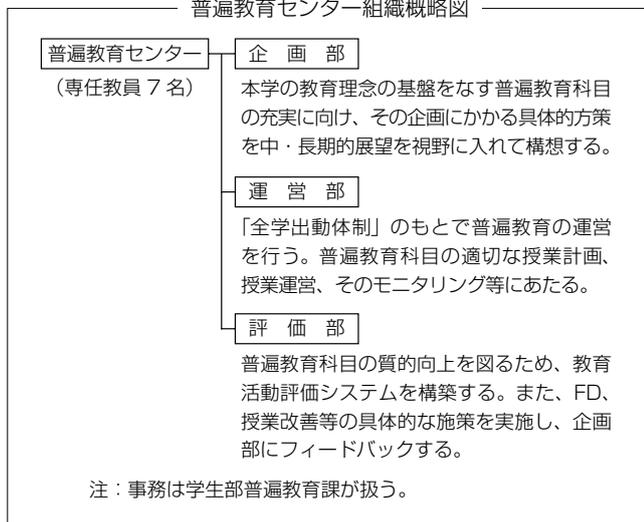
普遍教育センターの事業目的

1. 千葉大学憲章の理念・目標に基づき、普遍教育科目の企画、運営及び評価システムを開発し、実施する。
2. 全学部共通の教育を提供するための基盤形成に係る諸事項を総合的に調査・研究し、千葉大学における教育の質的向上に寄与する。

普遍教育センターの組織

普遍教育センターは企画部、運営部、評価部の3部で構成されています。センター長・副センター長・7名の専任教員が、各部に所属してセンターを運営しています。

普遍教育センター組織概略図



普遍教育センターのホームページを開設！

普遍教育センターのホームページが開設されました。

<http://fkc.chiba-u.jp>

ホームページでは、普遍教育センターの活動予定・活動記録を中心に普遍教育の充実に関する情報を提供していきます。

普遍教育センター各部からのお知らせ

◆企画部より.....
企画部は、普遍教育科目の充実に向けて、中長期的展望を視野に入れて、その具体的方策を構想することを役割としています。現在、普遍教育では、科目の多くが講義形式の授業形態を採用しており、学生と教員、学生と学生の双方向型の授業、学生の主体的活動を必要とする授業が少ないことが課題となっていました。今回、企画部ではこの課題に対応するために普遍教育において少人数双方向型授業として「少人数セミナー」科目を開設することを検討しました。大学教育における学士力修得に向けた少人数双方向型授業の必要性は、教育振興基本計画や中央教育審議会の答申（案）でも言及されている課題でもあります。このことは、少人数セミナー科目の新設が大学教育の改善のための政策動向への対応に直結し、本学の普遍教育の改善と質的向上に向け、必然であることを示しています。検討の結果、平成21年度から、少人数セミナー科目を「テーマゼミ（仮）」科目と命名し、教養展開科目として開設することが決定されました。

◆運営部より.....
運営部は、主として授業計画、授業運営に関わる業務を担当しています。大きな仕事としては、まず専門教員集団のとりまとめが挙げられます。今回の普遍教育カリキュラム改革に伴い、教員集団が15集団に組み替えられました。各教員集団には、主任と副主任が配置されていますが、部局をまたがって教員集団が形成されていますので、各集団の中での意思疎通は容易ではありません。授業担当者を決める際には、主任、副主任だけに任せてしまうのではなく、

運営部も加わって調整を図っていききたいと考えています。特に教養コア科目は各コアで20科目を開講していますが、全学必修ということもあり、たとえば成績評価において同一コア内の授業間で大きな差が生じては不公平感を増し、カリキュラムの意図を学生に伝えることが困難になってしまいます。運営部で把握できる課題については各集団に投げかけ、FDとして課題の解決に努めていきたいと考えているところです。

今年度前期は普遍教育におけるTAの利用について修正案を作成しました。TAについては複数の担当教員から時間数等で不満の声をいただいておりますが、普遍教育センターがTAの時間数枠を持っているわけではなく、TA候補者が所属する研究科にTA枠を割いていただいております。普遍教育のTA時間数が増加することは、各研究科のTAが不足することにもつながります。大学全体としてTAの予算措置が増える状況ではなく、むしろ削減される方向に進みつつある中で、運営部としてはこれまでの普遍教育全体の実績を踏まえながら、かつTA利用についての説明責任を果たしながら、全体として不公平のないように調整していききたいと思っています。

来年度の教養コア科目の授業計画については、新カリキュラムがスタートした時点での原則的に3年間は授業担当者の変更はしないという方針にもとづき、やむを得ない特別な理由を除き、今年度の担当教員に継続していただく予定です。教養展開科目については、多くの授業科目は旧普遍教育の個別科目・総合科目を引き継いでいます。現在8テーマにグループ化されていますが、各テーマに相応しい授業科目を順次新規に開講しながら充実を図っていききたいと考えています。

評価部より

評価部は、普遍教育科目の質的向上を図ることを目的に活動しています。そのためには、普遍教育における教育活動の評価システムをいかに構築するのが喫緊の検討課題となっています。評価部では、学内外の情報を収集し、単に法的な義務を果たすためではなく、なぜ、今、評価が必要なのか、その意味について理解し、評価を定着させる活動に取り組んでいきます。このほか、研修会や学習会等のFD活動を企画・実施するとともに、普遍教育に関する授業評価アンケートを実施、集計しています。特に授業アンケートについては、その有効性を高めるために、アンケートの内容と方法の見直しに着手しています。こうした活動の成果については、企画部に還元するとともに、ニュースレターやホームページでお知らせしていきます。

言語教育センターより — TOEIC IP について —

英語教育の成功のためには教員の工夫や熱意だけでは不十分で、学習者の「動機付け」も不可欠であるが、残念ながら普通の日本人が教室外で英語を必要とする場面は少ない。教室内においても高校までは英語が「主要科目」であったのに、大学では専門科目やアルバイトの片手間に4～6単位程度修得するだけの対象に成り下がってしまっているのが多くの学生にとっての現状である。これでは大学の国際化は程遠い。本学の中期目標にTOEICのことが明記されているが、これは英語学習の成果の検証のためだけでなく、動機付けの手段でもありと考えている。単位を取るだけで満足していた学生に客観的英語力を認識してもらい、より高い目標を設定してもらうために、本学では平成15年度から全学の希望者を対象にTOEIC IPを実施してきた。平成15年度の受験者数(学部生および院生)は414名であったが、徐々に受験者数も受験義務化の学部学科数も増え、平成19年度からは新入生全員の受験が義務化された。結果については学生や各学部にも通知されるが、得点が低かった学生への罰則はなく、500点以上の学生には中級英語や上級英語の受講資格が与えられる。また860点以上(レベルA)の学生は、言語教育センター長から表彰される。全学生が自分の英語力を客観的数値で認識できる体制が整ってきたことにより、中上級の英語授業を受講する学生が増え、さらに上を目指す意識も高まってきた。その一方で、やはり卒業単位を取ったら英語学習から離れてしまう学生も多いことが今後の課題である。

なお、本学ではTOEIC IPに加え、平成19年度からTOEFL ITPも希望者を対象に実施している。英語および初修外国語についての各種情報は、言語教育センターのホームページ f.chiba-u.jp に掲載されている。(言語教育センター 土肥 充)

普遍教育センターによる調査 — 新入生の高校時の履修科目状況 —

普遍教育センターでは、各学部の協力を得て、毎年4月に新入生に高等学校在学時の履修科目等を把握するためのアンケート調査を行っています。結果の概要が普遍教育センターホームページに掲載されておりますので、ご覧ください。

募集！学生による授業アイデア「新しい授業をつくる 学生による授業提案2008」

普遍教育センターでは学生が企画運営する授業に積極的に取り組んでいます。現在、学生による「授業アイデア」を公募しています(10月10日締切)。学生ならではのアイデアを待っています。詳しくは、普遍教育センターホームページに掲載の要綱等をご覧ください。

普遍教育センターの今後の予定

普遍教育センターでは、9月・11月に下記の公開イベントを企画しています。詳細は順次ホームページ等でご案内いたします。ご参加をお待ちしております。

※ 拡大学習会の開催 (9月24日14時予定)

普遍教育センターでは、授業期間中の毎月1回、教養教育・大学教育に関する課題をテーマとして設定して「センター学習会」を開催しています。9月24日には、「拡大学習会」として『わかりやすい授業を考える一聴覚障害学生のための学修支援の立場から』を開催する予定です。

※ 第2回普遍教育シンポジウムの開催 (11月14日13時予定)

普遍教育センターでは、11月14日(金)に、第2回普遍教育シンポジウム「普遍教育の新展開(仮)」を開催する予定です。普遍教育新カリキュラムの現状をふまえて少人数セミナーによる学生の主体的な学びのあり方をテーマとします。